



平成28年度 富谷市決算・事業報告



目次 contents

- 2……一般会計の決算状況
- 3……特別会計・水道事業
会計の決算状況
- 4……主な事業



平成28年度 富谷市決算報告

平成28年度決算が、平成29年第3回富谷市議会定例会で認定されました。
皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、お知らせします。

問 財政課 財務担当 (☎358-0619)

一般会計の決算状況

歳入	138億8,188万円
歳出	131億1,227万円
翌年度に繰り越すべき財源	1億7,730万円
実質収支	5億9,231万円

平成28年度の一般会計の決算は、歳入が138億8,188万円、歳出が131億1,227万円となり、前年度より歳入で3.5%、歳出で3.0%の増額となっています。これから平成29年度に繰り越した事業に必要な財源1億7,730万円を除いた実質的な収支は5億9,231万円の黒字となっています。この黒字分は平成29年度の事業に充てるほか、平成29年度以降に市のお金が不足する場合は貯金として、基金に積み立てました。

特別会計・水道事業会計の決算状況

●特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。平成28年度は、4会計とも黒字決算となりました。

会計	収入済額	支出済額	内容
国民健康保険特別会計	44億 825万円	42億6,045万円	医療費の支給、特定健康診査など。
下水道事業特別会計	10億2,729万円	10億1,000万円	公共下水道の整備など。
介護保険特別会計	23億5,436万円	23億3,717万円	介護サービス給付費など。
後期高齢者医療特別会計	3億 765万円	3億円	後期高齢者医療広域連合への納付金など。

●水道事業会計

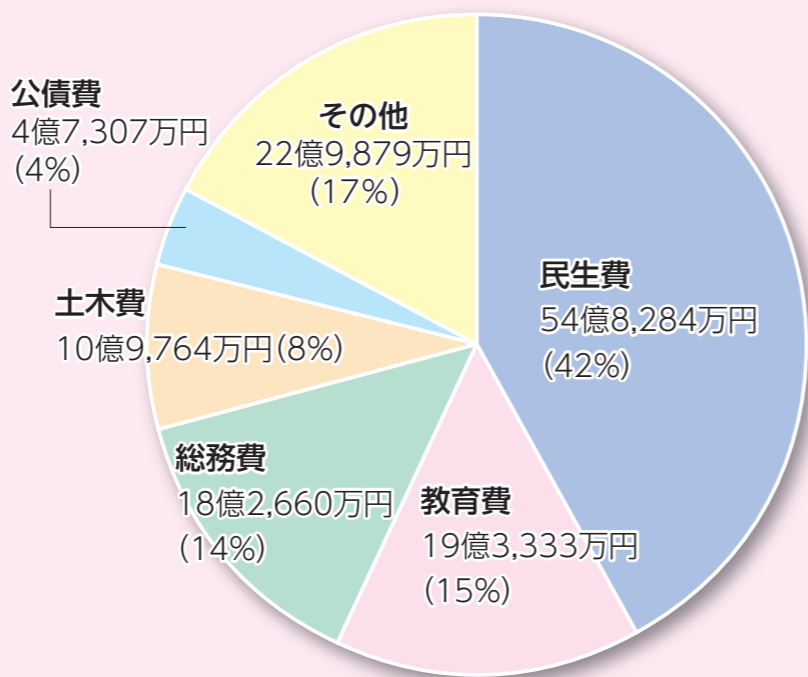
水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

区分	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億5,537万円	10億7,638万円	収入のほとんどは水道料金。支出は受水費や固定資産の減価償却費など。
資本的収支	620万円	1億4,846万円	支出は施設整備と企業債償還などの資産取得など。

一般会計 歳出 131億1,227万円

歳出は、民生費が全体の約42%を占め、子ども手当の支給、市立保育所の管理運営や認可保育所への運営補助、障害者福祉事業や子ども医療費助成、生活保護費の支給、子育て支援拠点整備事業などを行いました。

また、教育費では、各小中学校整備・管理運営を、総務費では、市制移行に関連した経費の執行などを行いました。



市民1人あたりに換算すると…

	平成28年度	平成27年度
合計	24万9,834円	24万3,232円
民生費	10万4,467円	8万3,138円
教育費	3万6,836円	4万6,396円
総務費	3万4,803円	3万7,496円
土木費	2万 914円	2万3,361円
公債費	9,014円	9,021円
その他	4万3,800円	4万3,820円

※H29.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,484人で算出しています。

※H28.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,347人で算出しています。

用語解説

- 民生費**
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費
- 教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- 総務費**
防犯、交通安全、市民バスの運行などの経費
- 土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費
- 公債費**
市が借りたお金やその利子を返還するための経費
- その他**
衛生費、消防費、議会費、災害復旧費などの経費

自主財源

78億5,158万円(57%)

市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源

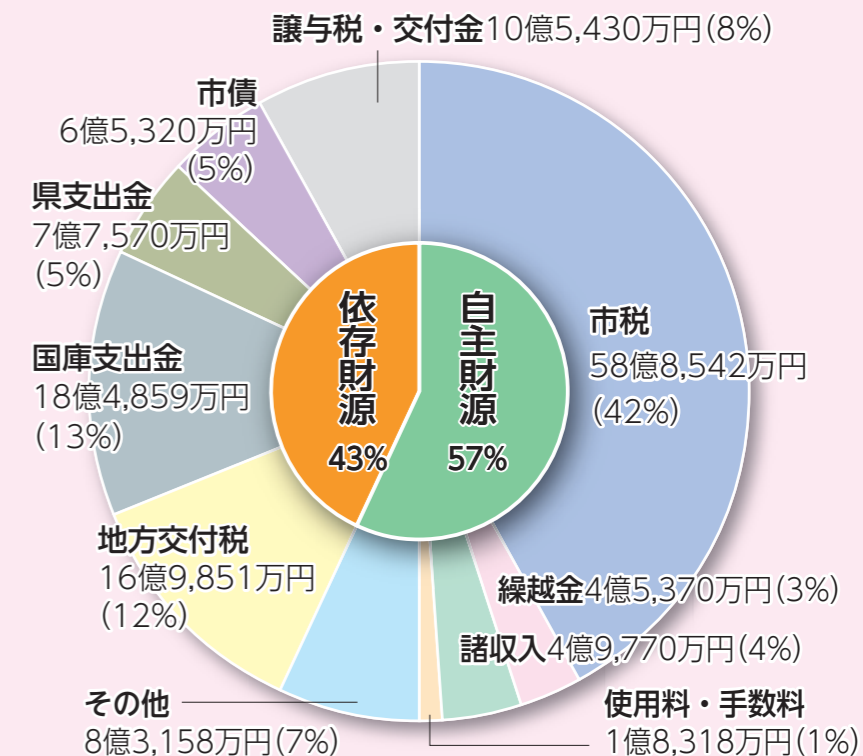
60億3,030万円(43%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、市債も依存財源に該当します。

用語解説

- 市税**
皆さんが市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 繰越金**
平成27年度から平成28年度へ繰り越したお金です。
- 地方交付税**
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**
国や県が使いまちを決めて交付するお金です。

一般会計 歳入 138億8,188万円



市民1人あたりに換算すると…

	平成28年度	平成27年度
合計	26万4,497円	25万6,101円
市税	11万2,137円	10万8,746円
国・県支出金	5万 2円	4万4,602円
地方交付税	3万2,362円	3万4,787円
市債	1万2,446円	1万7,697円
その他	5万7,550円	5万 269円

※H29.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,484人で算出しています。

※H28.3.31末現在の住民基本台帳人口 52,347人で算出しています。

総務部 総務課・税務課・市民生活課

町内会館整備事業……………7,108万円
今泉地区と二ノ関地区へ町内会館を新築し、コミュニティ活動を支援しました。



マイナンバー制度対応事業……………6,738万円
マイナンバー制度に対応する各種システムの改修や総合運用テストを実施しました。

J-NET運用事業……………728万円
J-NETの適切な運用管理に努め、個人番号制度の開始に伴うマイナンバーカードを発行しました。

空家関連GIS導入業務……………162万円
市内の空家調査等のため、GISシステムを構築・運用し、空家対策に必要なデータベースの整備を行いました。

粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業……………3,961万円
クレーン整備工事や設備を修繕するなど、施設の長寿命化に努めました。

災害対策総務事務……………390万円
自主防災組織の設立・育成を進めるため、補助金を交付するなど地域の防災活動を支援しました。

消防操法大会……………627万円
消防団の操法技術を競う宮城県大会が総合運動公園で開催され、ポンプ車操法7チーム、小型ポンプ操法8チームが出場しました（富谷町消防団出場）。



消防ポンプ整備事業……………630万円
消防団の機動力向上を目的に志戸田地区へ小型動力消防ポンプ軽積載車を配備しました。



消防施設整備事業……………337万円
小型動力消防ポンプ軽積載車の格納庫を志戸田班へ整備しました。

建設部 都市整備課・都市計画課・上下水道課

二・三ノ関線外8路線舗装修繕事業……………1億2,959万円
車両通行の円滑化を確保するため、老朽化が著しい市道二・三ノ関線などの道路舗装を修繕しました。

側溝整備事業……………9,677万円
歩行者の安全と車両通行の円滑化を確保するため、太子堂や富ヶ丘、鷹乃杜地区へ側溝の有蓋化工事を実施しました。



市道除融雪事業……………1億2,022万円
除雪・融雪を実施し、市道の安全な通行を確保しました。

大亀山森林公園維持管理事業……………2,100万円
アスレチックの修繕や支障木伐採等を実施し、利用者の安全と良好な森林公園の維持管理に努めました。



一般公園維持管理事業……………1億762万円
遊具の修繕や樹木の剪定、除草などを行い安全な公園管理に努めました。

中継ポンプ場更新及び維持管理業務……………9,800万円
成田第1汚水中継ポンプ場のゲート設備等の改築工事を実施するなど、施設の適正な維持管理に努めました。



平成28年度に実施した主な事業

企画部 企画政策課・財政課・産業振興課

市民バス運営事業……………3,095万円
コミュニティバス4台で市内を循環運行しました。またバス停留所の新設や移設、運行ダイヤの変更を行うなど、利便性の向上に努めました。



市民バス乗り継ぎ実証運行事業……………185万円
泉中央駅へのアクセス向上を図るため、市役所を拠点とした、市民バスと宮城交通バスとの乗り継ぎによる実証運行を実施しました。

新公共交通システム推進事業……………619万円
新たな公共交通システム導入に向けての検討調査や、公共交通利用に関するアンケート調査を実施しました。

市制移行準備事業……………1億4,430万円
市制移行に向け各種PR、電算システム改修、各種表示物の変更、福祉事務所の設置などを実施しました。また市制施行記念式典の開催や市民歌を作成するなど、富谷市のPRに努めました。

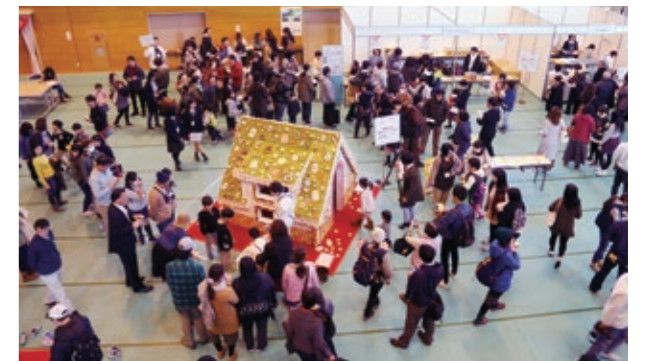


行政情報紙発行事業……………1,175万円
広報とみやを月1回発行し、市政やイベントに関する情報を市民へ発信しました。また表紙や内容をリニューアルしたほか、特集の動画配信も実施するなど、市民に愛される広報紙づくりに努めました。

地域情報化推進事業……………735万円
市制施行にあわせてホームページを全面リニューアルし、情報発信の向上に努めました。

公有財産維持管理事業……………9,800万円
定期点検等を実施するなど、市役所の適正な維持管理に努めました。また公共施設の維持管理・更新等の最適化を図るため、総合管理計画を策定しました。

とみや国際スイーツ博覧会開催経費……………4,125万円
スイーツのまちづくりを広くPRするため、とみや国際スイーツ博覧会を初めて開催し、2日間で約3万人の方が訪れました。（地方創生加速化交付金充当事業）

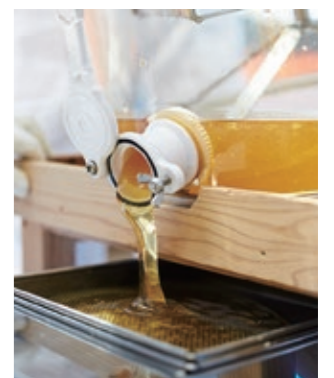


企業誘致事業……………851万円
東京や名古屋で開催される企業立地セミナーに参加するなど、トップセールスによる誘致活動を展開しました。

ブルーベリー産地拡大事業……………163万円
特産品であるブルーベリーの成木育成事業により栽培拡大を進めました。また、ブルーベリースーツフェアの開催により消費の拡大とPRを行いました。



とみやはちみつプロジェクト事業……………50万円
はちみつを新たな地域の特産品（スイーツ原材料）として検討するため、はちみつの生産実証実験を市役所屋上でを行い、特産品の開発に取り組みました。採れたはちみつは、とみやスイーツに使われています。



教育部 教育総務課・学校教育課・生涯学習課

市立小学校維持管理事業……………1億2,041万円
市立中学校維持管理事業……………8,519万円
 安心・安全で快適な学習環境を確保するため、設備の改修を行うなど、小学校8校と中学校5校の施設の適切な維持管理に努めました。



市立小学校コンピュータ教育事業……………6,492万円
市立中学校コンピュータ教育事業……………2,618万円
 コンピュータの保守管理業務やICT機器・ソフトウェアの充実を図り、教育環境の整備に努めました。

市立小学校図書推進事業……………1,815万円
市立中学校図書推進事業……………1,309万円
 学校図書館指導員の資質向上や調べる学習コンクールを開催するなど、子どもたちの読書活動を促進しました。



外国青年招致事業……………2,333万円
 小・中学校において、外国語指導助手（ALT）5名により、児童・生徒が言語や文化の理解、積極的なコミュニケーションを図られるよう、育成に努めました。

幼稚園就園奨励費補助事業……………1億3,216万円
 私立幼稚園に通園する家庭に対して補助金を交付し、経済的負担軽減と就園機会の確保に努めました。

学校給食センター運営・維持管理事業……………4億4,770万円
 アレルギー対応食の提供など、小学校8校、中学校5校の安心安全な給食の提供に努めました。



学力向上パワーアップ支援事業……………1,790万円
 「学びの共同体」の理論と実践を目的として、教諭を対象とした授業研究会や講演会を開催し、教諭の資質向上を図りました。

スクールソーシャルワーカー活用事業……………129万円
 不登校やいじめなど、多様化する児童・生徒の抱えるさまざまな課題に対応するため、専門的な知識・技術により、児童生徒の支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置しました。

マーチングフェスティバル事業……………250万円
 市民の芸術・文化の創造・発展につとめることを目的に開催し、市内小学校の金管バンドやとみやマーチングエコーズなどが出場しました。

成人祝い事業……………193万円
 新成人を祝うとともに、成人としての自覚と責任を促す機会として成人式を開催しました。



公民館施設維持管理各種工事……………6,080万円
 設備や施設の修繕等を行い、公民館の快適な利用環境の整備と施設の維持管理に努めました。

西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業……………2,836万円
 西コミ「おっちゃんの木」整備や施設の改修工事を実施するなど、施設の適正な運営と維持管理に努めました。



富谷市次世代型図書館づくりに向けた市民参加ワークショップ事業……………100万円
 次世代型図書館づくりに向けた市民参加型のワークショップやシンポジウムを開催しました。



福祉部 長寿福祉課・地域福祉課・健康増進課・子育て支援課

臨時福祉給付金支給事業……………1億725万円
 消費税率が引き上げられたことによる低所得者の影響を緩和するため、対象者一人に対し3,000円を支給しました。また、賃金引き上げの恩恵が及びにくい年金受給者に対して、一人30,000円を支給しました。

高齢者・障がい者交通対策事業
高齢者分……………2,504万円
障がい者分……………358万円
 高齢者や障がい者が外出する際に、仙台市営地下鉄や宮城交通バスを利用できる「とみぱす」を発行しました。



高齢者在宅支援事業……………1,857万円
 高齢者が安心して在宅生活を過ごしていけるように配食サービスや元気回復ショートなどを実施しました。

介護老人福祉施設整備事業……………6,160万円
 介護施設に入所を希望する待機者対策として、特別養護老人ホームアルシュ富谷の建設を支援しました。

街かどカフェ事業……………95万円
 富ヶ丘や鷹乃杜地区の3箇所に、地域交流ステーション街かどカフェの設立を支援しました。



障害者自立支援給付事業……………3億7,477万円
 障がい者が住み慣れた地域で安心して生涯を過ごせるまちづくりを目指して、介護給付や訓練等給付などを実施しました。

障害児通所支援事業……………1億4,774万円
 障がい児が早期に適切な療育等の支援を受けられるように、相談支援や給付事業などを実施しました。

生活保護扶助事業……………6,107万円
 生活保護法の基準に基づいた扶助費を支給するとともに、自立に向けた支援を実施しました。

住民検診事業……………1億5,602万円
 健康づくりの第一歩として、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に各種検診事業を実施し、健康の保持増進、疾病予防、重症化予防に努めました。

感染症予防事業……………2,103万円
 高齢者のインフルエンザや肺炎球菌の予防接種に一部助成し、感染症の予防に努めました。

特定健康診査等事業……………3,918万円
 国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に生活習慣病に着目した特定健診を実施しました。

子育て支援拠点整備事業……………4億2,944万円
 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うため、明石台地区に子育て支援施設「とみここ」を整備しました。



子ども医療費助成事業……………2億7,460万円
 対象を18歳に到達する年度末までとし、子育てで家庭の生活の安定と福祉の増進に努めました。

保育所運営・維持管理事業……………1億4,655万円
 市立保育所4所の円滑な運営と施設の維持管理に努めました。

認可保育所運営事業……………6億8,526万円
 新たに認可保育所を1園開所したほか、認可外保育園2園が認可保育所へ移行するなど、児童福祉の増進と待機児童の解消を進めました。

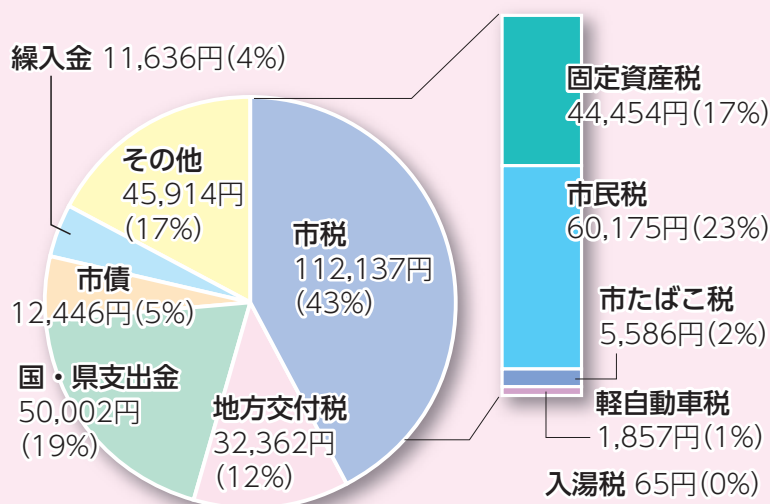
児童館・放課後児童クラブ建設事業……………1億9,120万円
 富ヶ丘・あけの平・成田小学校の敷地内に、児童クラブ棟を整備しました。



税金の負担額および使用額

一人当たりの負担額…11万2,137円

一人当たりの歳入額…26万4,497円



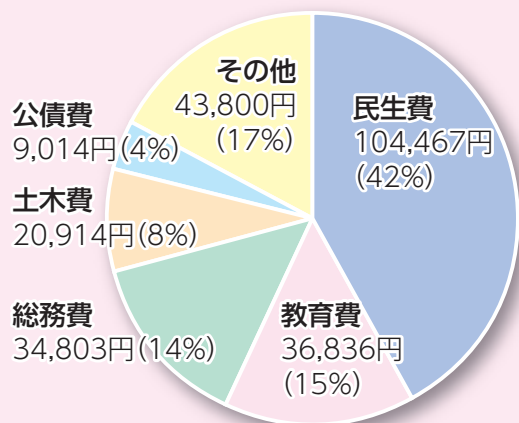
市民一人当たりの負担額は？

平成28年度の税収を一人当たりで換算してみると、市民税や固定資産税などの市税が、11万2,137円となりました。

それに対して一人当たりの歳入は24万9,834円となっています。

その差額の部分を、地方交付税・国県支出金などの国や県から交付されるお金や、家庭で言えばローンにあたる市債を借入れしたり、貯金にあたる基金を取り崩して補っています。

一人当たりに使われたお金…24万9,834円



市民一人に、どれくらいのお金が使われたの？

一人当たりに使われたお金を主な目的別で見ると、児童手当支給事業、障害者自立支援給付事業などの民生費で104,467円、市立小中学校や学校給食センター運営・維持管理事業などの教育費で36,836円、市民バス運営事業などの総務費で34,803円、市道の維持管理事業や公園の維持管理事業などの土木費で20,914円、市債の償還費用として公債費で9,014円となり、全体として一人当たりに使われたお金は24万9,834円となりました。

健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷市は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。

- 健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷市	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.60	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	18.60	すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	▲2.3	25.0	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	—	350.0	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

- 資金不足比率

富谷市の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取り組みが必要となります。